

## 出場者の皆様へ

各会場のテニスコートは、この大会のために一般の方々のご理解とご協力で、皆さんの使用をこころよく提供してくれています。出場者の皆さん、この大会を有意義なものとする為にも、ルール・コートマナーをお互い守りましょう。

==注意！みんなで守ろう=====

- 1, 出席 朝は、8:30~9:00 入口にてスマホによる体温チェックを行います。  
他、開始時間前に体温チェック⇒本部に出席を届けてください。

各自名前、所属、登録Noを確認してください。本戦選手は追加参加料 1000 円をお支払い下さい。

ラッキールーザー<予選上位者から本戦に欠員が出た時入れます。申込は予選の当日>

- 2, 試合開始 試合進行表（オーダーオブプレー）にしたがって、各自コートに入ること。
- 3, 試合方法 シングルス・ダブルスともに 予選 8 ゲームマッチ（8-8 後タイブレーク）  
本戦 シングルス 3 セットマッチ（各セット 6-6 後タイブレーク）  
ダブルス 3 セットマッチ（ファイナル 10 ポイントタイブレーク）
- 4, ウォーミングアップ 3 分以内にすませること。
- 5, 結果報告 試合終了後、勝者がすみやかに本部に報告すること。敗者にはボールを差し上げます。
- 6, ユニホーム 上下とも節度ある清潔なテニスウェアとします。  
ロゴマーク・学校名については、規定の通りですので注意してください。
- 7, 審判 全てセルフジャッジです。
- 8, けいれん 試合中「けいれん」のための処理時間は認めません。
- 9, 試合球 ダンロップ AO 1 試合 2 球支給します(本戦 4 球ファイナルチェンジ)→回収
- 10, 天候 天候が悪く、試合があるかどうか分からない時も、一旦会場に集まること。
- 11, 日程変更 翌日以降の試合があるときは、次の日程に変更がないかどうか確認しましょう。
- 12, コートマナー 規則正しく行儀よく。試合中はどんなアドバイスも受けてはなりません。  
声を出して応援しないこと。これを繰り返したプレーヤーやコーチした人は、退場させられることがあります。(コードバイオレーション対象)
- 13, 失格 試合中無断でコートを離れた時、失格になるので気をつけましょう。
- 14, きれいに 会場ではゴミ、空き缶は持ち帰りになっています。ご協力お願いします。
- 15, 携帯電話 試合中は携帯電話の電源は切ってください。
- 16, エチケット
- ・ 試合中コートのそばを通る時には、ポイントが終るまで待つこと。
  - ・ とりのりのコートに入ったボールを取りに行く時や、自分のコートに入ってきたボールを返す時には、プレーしているポイントが終るまで待ちましょう。
  - ・ 試合終了後はスコアボードやコートを整備して退場しましょう。
- 17, 問合せ先 仲沢 090-2746-9054

### 関東ジュニアにすすめる数

	男子シングルス	男子ダブルス	女子シングルス	女子ダブルス
18才以下	3名+1	2組+1	3名+2	2組+1
16才以下	3名+1	2組+0	3名+1	2組+0
14才以下	3名+1	2組+0	3名+0	2組+0
12才以下	3名+1	2組+0	3名+2	2組+1

## 倫 理 規 定

全てのプレーヤーにとってスポーツマンシップは大切なことです。スポーツマンシップに反する行為やテニスにとって好ましくない行為をしないよう、以下のことを守らなくてはなりません。

協会の公認するトーナメントにおいてこの規定に違反した場合は、懲罰処分に付されることとなりますので、試合前にもう一度確認してください。

- 1、大声を出したり、悪口を言ったり、みだらな言葉を口にしたり、ラケットを投げ出したり、ボールを投げつけたりしてはならない。
- 2、プレー中時間かせぎをしてはならない。コートチェンジの時間は90秒を超えてはならないし、ポイントとポイントの間や、コートチェンジのないゲームとゲームの間は、20秒を超えてはならない。ウォームアップは許された時間（通常3分）を超えてはならない。
- 3、ラケットや腕を振り回したり、音をたててわざと相手の気を乱すことをしてはならない。
- 4、試合中にサインやアドバイスを受けてはならない。両親や友人やコーチを含め、観衆はコート上のことに干渉したり、かかわりを持ってはならない。
- 5、試合の勝ち負けがはっきりしそうになっても、試合を投げ出したり、いいかげんなプレーをしてはならない。最後のポイントまで真剣にプレーすること。
- 6、一旦ドローが決定したら、病気やケガなどやむを得ない緊急の事態が起こった場合を除いて、棄権してはならない。

## セルフジャッジの場合のコート上でのルール

=====（詳しくはコートの友、ジュニアハンドブックを参照のこと）

- 1、ボールが「イン」か「アウト」疑わしい時には、相手にポイントを与えなさい。レットとしてはいけません。
- 2、あなたのコートの全てのボールの「アウト」または「イン」のコールはあなたの責任です。相手に分るように「サイン」または「コール」を大きな声で送りなさい。
- 3、「アウト」または「レット」のコールはただちに（相手が返球する前か、返球がアウトしてしまう前に）行わなければなりません。そうしない場合には、ボールは「イン」としてプレーが続行されます。
- 4、観衆にラインのコールの手助けをしてもらってはなりません。
- 5、「アウト」とコールした後に「イン」であると判った場合には、ただちにコールを訂正しなくてはなりません。
- 6、スコアに関する争い事が起こらないように、サーバーは新しいゲームに入るごとに、ゲームのカウント（例えば5-4）をコールし、サーブごとにポイントのカウント（例えば40-30）をコールしなくてはなりません。
- 7、お互いにスコアに同意できない場合には、そのゲームの各ポイントを再確認していきなさい。それでも疑問が残る場合には、15オール、30オール、デュースのうちスコアに最も近いものを選んでゲームを進めなさい。
- 8、フットフォルトは違反です。明らかにフットフォルトが続く場合はレフェリーに告げなさい。
- 9、ぐずぐずしたり、ふてくされたり、文句を言ったり相手をだましてはいけません。
- 10、互いに判断を下せない場合、また繰り返し明らかな「ミスジャッジ」が出た場合は、レフェリーを呼びなさい。